

ハッピーキッズ・デイケア（個人経営・デイケア）

お話：ヘイガン・千尋

レポート：豊川倫代

★概要

- ・施設にて保育の様子を参観
- ・保育者と座談会

*本施設は日本人が経営者兼保育者。有資格者でなくともデイケアを開くことができることが地域にどのように貢献しているかなど、地域密着型の保育、子育て支援についてお話を伺うことができた。

オーナーのヘイガン・千尋さんは、7年前から自宅の地下スペースで認可型デイケア開設。



★デイケアのシステム

- ① 1歳以上であって人数制限があり、何歳をお預かりするかでその日の人数が決まる。スペースの関係で4人がベスト。
- ② 保育所ではないので、デイケアという形で行っている。前日登録する方や、前から来ているお子さんが多い。
- ③ 補助金は、全員もらえるわけではない。正當に子どもの為にする。
- ④ 偏食が多いのでお弁当持参で、連絡帳があり情報交換をしている。
- ⑤ 年に1度全地域で、避難訓練があり、何かあった場合は、車にシートをつけず安全第一の為に乗せ、速やかにその場から離れる。

- ⑥ 施設の条件として午睡の部屋の窓を付け替える。
- ⑦ 敷地内に広い庭があり、(砂場)十分に体を動かせる。

★ファミリーケアのいい所

- ① 地域の子育てを支えている
- ② 両親の都合やニーズに合わせて預けられる
- ③ 型にはまらない柔軟性

★感想

- ① 日本だと地下と聞くと暗いイメージを持ちやすいが、そう感じさせないほど明るく家庭と同じような温かい雰囲気、安全な環境が用意されていた。
- ② 千尋さんがお子さんを大好きな思いが伝わってきて、地域に根付いた形で子育てを支援しており、同



時に地域からも支えられていると感じた。

- ③ 多様性があり親の身近な立場にた
って、どんな保育を望んでいるの
か、耳を傾け寄り添っている。
- ④ 自然と十分な敷地があり、思いき
り体を動かすことが出来る。
- ⑤ アットホームな環境の中で、家庭
と同じような雰囲気、地域の
子育てを支えていると感じた。
個々との関わりが厚く、保護者との
信頼も厚い。
- ⑥ 自然に恵まれ、この環境はとても
羨ましくなかなか日本では難しい。

